

## 平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査

### 各種記録表等の取りまとめ結果の概要

#### 目 次

第 1	調査員記録表	1
第 2	指導員記録表	16
第 3	調査状況等記録表	24
第 4	市区町審査の概要	37

調査員記録表、調査状況等記録表などに基づいたものであり、「調査票の集計結果」と一致しない場合がある。

平成 20 年 11 月

国 勢 統 計 課

## 第1 調査員記録表

### 1 調査員の基本属性

調査員は218人で、男女別にみると男性が89人（40.8%）、女性が129人（59.2%）となっている。

また、年齢階級別にみると、60歳代が最も多く85人（39.0%）、次いで50歳代が50人（22.9%）となっている。国勢調査員経験回数別にみると、経験なしが129人（59.2%）、経験ありが89人（40.8%）となっており、経験ありの中では1回が最も多く48人（22.0%）となっている。

表1 調査員の基本属性

		実数	構成比(%)
総数		218	100.0
性別	男	89	40.8
	女	129	59.2
年齢階級	20歳代	2	0.9
	30歳代	14	6.4
	40歳代	27	12.4
	50歳代	50	22.9
	60歳代	85	39.0
	70歳以上	40	18.3
国勢調査経験	国勢調査員の経験あり	89	40.8
	1回	48	22.0
	2回	25	11.5
	3回	8	3.7
	4回	2	0.9
	5回以上	6	2.8
	国勢調査員の経験なし	129	59.2

## 2 担当地域について

### (1) 担当地域の認知度

調査員の担当地域の地理的な認知度については、調査票配布・当初回収時及びフォローアップ回収時ともに、「よく知っていた」の割合が高くなっている。

表2 - 1 調査員の担当地域の認知度

		調査区数	構成比(%)			
			よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳
総数(調査票配布・当初回収時)		280	45.7	33.2	19.3	1.8
地域特性	調査困難地域	80	41.3	33.8	21.3	3.8
	オートロックマンション	40	45.0	37.5	12.5	5.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	40	37.5	30.0	30.0	2.5
	一般地域	200	47.5	33.0	18.5	1.0
	一戸建の多い地域	100	48.0	27.0	24.0	1.0
	共同住宅の多い地域	100	47.0	39.0	13.0	1.0
総数(フォローアップ回収時)		280	39.3	32.1	18.6	10.0
地域特性	調査困難地域	80	41.3	28.8	20.0	10.0
	オートロックマンション	40	42.5	37.5	15.0	5.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	40	40.0	20.0	25.0	15.0
	一般地域	200	38.5	33.5	18.0	10.0
	一戸建の多い地域	100	36.0	26.0	25.0	13.0
	共同住宅の多い地域	100	41.0	41.0	11.0	7.0

### (2) 担当世帯の認知度

調査員の担当地域の世帯の認知度については、調査票配布・当初回収時及びフォローアップ回収時ともに、「ほとんど知らなかった」の割合が高くなっている。

これを地域特性別にみると、特に調査困難地域の「ほとんど知らなかった」の割合が高くなっている。

表2 - 2 調査員の担当世帯の認知度

		調査区数	構成比(%)			
			よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳
総数(調査票配布・当初回収時)		280	15.0	24.6	58.6	1.8
地域特性	調査困難地域	80	2.5	13.8	80.0	3.8
	オートロックマンション	40	-	17.5	77.5	5.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	40	5.0	10.0	82.5	2.5
	一般地域	200	20.0	29.0	50.0	1.0
	一戸建の多い地域	100	27.0	24.0	48.0	1.0
	共同住宅の多い地域	100	13.0	34.0	52.0	1.0
総数(フォローアップ回収時)		280	11.8	21.8	56.4	10.0
地域特性	調査困難地域	80	3.8	13.8	72.5	10.0
	オートロックマンション	40	2.5	15.0	77.5	5.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	40	5.0	12.5	67.5	15.0
	一般地域	200	15.0	25.0	50.0	10.0
	一戸建の多い地域	100	18.0	19.0	50.0	13.0
	共同住宅の多い地域	100	12.0	31.0	50.0	7.0

### 3 調査書類配布前の自宅での準備について

調査員が、世帯に調査書類を配布する前に、自宅で調査書類に必要事項を記入し、『調査書類整理用封筒』に収納することについては、93人(42.7%)の調査員から意見があった。

表3 調査書類配布前の自宅での準備について気付いた点の有無

	総数	気付いた点なし	気付いた点あり	不詳
実数	218	114	93	11
構成比(%)	100.0	52.3	42.7	5.0

#### 【主な意見】

- ・ 調査票ID及び「世帯番号」を正しく対応付けして『調査書類整理用封筒』に収納できているか確認するのに時間を要した。
- ・ 記入する箇所が多く、作業に時間を要した。
- ・ 調査票IDの理解に時間を要した。
- ・ 『調査書類整理用封筒』が小さく、世帯に配布する調査書類を収納しにくかった。調査書類を収納できる大きさがよい。
- ・ 追加で配布する2枚目以降の調査票を事前に準備しておいたほうがよい。
- ・ 調査書類配布前の自宅での準備は、調査票の配布を円滑に行うことを考慮すると必要である。

#### 4 世帯訪問の状況

##### (1) 1世帯当たりの平均訪問回数

###### ア 調査票配布時

調査票配布時における調査員の1世帯当たりの平均訪問回数をみると、2.2回となっている。なお、調査票配布時に3回訪問しても世帯と面接できなかった場合は、郵便受けに入れるなどして配布することとしたが、4回以上訪問した世帯の割合が15%を超えている。

これを地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」の平均訪問回数が3.0回と最も多くなっており、5回以上訪問した割合も約15%と高くなっている。

次に、世帯との面接状況をみると、全体では世帯と面接できた割合は75.3%となっている。

これを地域特性別にみると、「学生寮のある地域」(100%)及び「一戸建の多い地域」(93.8%)で面接できた割合が高くなっており、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」(42.8%)が最も低くなっている。

また、訪問回数別にみると、1回訪問して面接できた割合(43.0%)が最も高くなっており、3回以内の訪問で面接できた世帯の割合は、面接できた全世帯のうちの92.8%となっている。

表4-1 調査員の世帯訪問回数(調査票配布時)

	世帯数	調査票配布時					(別掲) 1世帯当 たり平均 訪問回数	
		訪問回数別割合(%)						
		1回	2回	3回	4回	5回 以上		
総数	13,538	44.9	18.6	21.3	9.0	6.3	2.2	
地域 特性	調査困難地域	3,960	33.4	17.5	26.8	13.9	8.4	2.6
	オートロックマンション	2,029	39.0	20.2	25.1	12.5	3.2	2.2
	単身者が居住する住宅の多い地域	1,807	22.9	15.4	30.4	16.4	14.8	3.0
	学生寮のある地域	124	96.0	4.0	-	-	-	1.0
	一般地域	9,578	49.6	19.1	19.0	6.9	5.4	2.1
	一戸建の多い地域	4,634	66.4	19.3	10.0	3.1	1.3	1.5
	共同住宅の多い地域	4,944	33.9	18.9	27.4	10.6	9.2	2.6

表4-2 調査員の世帯訪問回数別面接状況(調査票配布時)

	世帯数	うち 面接でき た割合 (%)	調査票配布時										
			訪問回数別面接できた割合(%)					(別掲)訪問回数別面接できた累計(%)					
			1回	2回	3回	4回	5回 以上	1回	2回	3回	4回	5回 以上	
総数	13,538	75.3	43.0	17.8	9.2	3.4	2.0	57.0	80.6	92.8	97.3	100.0	
地域 特性	調査困難地域	3,960	59.0	29.9	16.1	8.3	3.2	1.5	50.7	77.9	92.0	97.4	100.0
	オートロックマンション	2,029	70.9	37.7	19.3	10.3	2.5	1.2	53.2	80.3	94.8	98.3	100.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	1,807	42.8	16.6	13.3	6.8	4.2	2.0	38.8	69.8	85.5	95.2	100.0
	学生寮のある地域	124	100.0	96.0	4.0	-	-	-	96.0	100.0	-	-	-
	一般地域	9,578	82.0	48.4	18.5	9.5	3.5	2.2	58.9	81.5	93.0	97.3	100.0
	一戸建の多い地域	4,634	93.8	65.5	18.5	7.0	2.2	0.7	69.7	89.4	96.9	99.3	100.0
	共同住宅の多い地域	4,944	70.9	32.3	18.4	11.8	4.7	3.7	45.6	71.6	88.2	94.8	100.0

イ 当初回収時（多様な提出方法の並列周知型）

多様な提出方法の並列周知型の当初回収時における調査員の1世帯当たりの平均訪問回数をみると、2.1回となっている。

これを地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」（3.0回）が最も多くなっている。

次に、世帯に面接できた割合をみると70.8%となっており、調査票を回収できた割合は47.8%となっている。

これを訪問回数別にみると、1回訪問して面接できた割合（38.3%）と、1回訪問して回収できた割合（27.4%）が最も高くなっている。

また、調査票配布時の世帯との面接状況別にみると、世帯と面接できて調査票を配布した場合の平均訪問回数は1.8回、その場合の調査票を回収できた割合は59.8%となっている。その一方で、面接できずに調査票を配布した場合の平均訪問回数は3.0回、その場合の調査票を回収できた割合は17.9%となっている。

表4-3 調査員の世帯訪問回数（当初回収時）

	世帯数	当初回収時					（別掲） 1世帯 当たり 平均訪 問回数	
		訪問回数別割合（%）						
		1回	2回	3回	4回	5回 以上		
総数	5,578	43.0	24.9	18.7	6.9	6.5	2.1	
配 方 置 法								
	フォローアップ回収事務調査員継続型	2,804	40.0	27.3	20.0	8.0	4.6	2.1
	フォローアップ回収事務調査員縮小型	2,774	46.0	22.4	17.4	5.8	8.4	2.2
地 域 特 性	調査困難地域	1,500	30.1	19.7	31.6	8.5	10.2	2.6
	オートロックマンション	736	34.0	26.6	27.3	7.9	4.2	2.2
	単身者が居住する住宅の多い地域	764	26.3	13.0	35.7	9.0	16.0	3.0
	学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-
	一般地域	4,078	47.8	26.8	14.0	6.3	5.1	2.0
	一戸建の多い地域	1,745	63.7	22.7	8.9	3.1	1.5	1.6
	共同住宅の多い地域	2,333	35.8	29.9	17.7	8.7	7.8	2.3
配 面 接 時 状 況	配布時に面接可	3,927	53.3	25.8	13.0	4.8	3.0	1.8
	配布時に面接不可	1,506	16.1	22.6	33.8	12.0	15.6	3.0

表4-4 調査員の世帯訪問回数別面接状況（当初回収時）

	世帯数	うち 面接で きた割 合（%）	当初回収時										
			訪問回数別面接できた割合（%）					（別掲）訪問回数別面接できた累計（%）					
			1回	2回	3回	4回	5回 以上	1回	2回	3回	4回	5回 以上	
総数	5,578	70.8	38.3	18.9	8.6	3.4	1.8	54.0	80.7	92.7	97.5	100.0	
配 方 置 法													
	フォローアップ回収事務調査員継続型	2,804	65.7	34.2	17.9	8.5	3.5	1.6	52.1	79.4	92.3	97.6	100.0
	フォローアップ回収事務調査員縮小型	2,774	76.1	42.4	19.9	8.6	3.2	2.0	55.7	81.8	93.1	97.3	100.0
地 域 特 性	調査困難地域	1,500	55.3	25.3	17.3	8.2	2.5	2.1	45.7	76.9	91.7	96.3	100.0
	オートロックマンション	736	70.0	32.5	23.4	10.1	2.6	1.5	46.4	79.8	94.2	97.9	100.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	764	41.2	18.3	11.4	6.4	2.5	2.6	44.4	72.1	87.6	93.7	100.0
	学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般地域	4,078	76.6	43.1	19.5	8.7	3.7	1.7	56.2	81.7	93.0	97.8	100.0
	一戸建の多い地域	1,745	87.9	58.8	19.4	6.8	1.8	1.1	66.9	89.0	96.7	98.8	100.0
	共同住宅の多い地域	2,333	68.1	31.3	19.5	10.1	5.1	2.1	45.9	74.6	89.4	96.9	100.0
配 面 接 時 状 況	配布時に面接可	3,927	84.8	50.0	21.3	8.6	3.4	1.5	59.0	84.1	94.1	98.2	100.0
	配布時に面接不可	1,506	34.1	7.4	12.4	8.6	3.2	2.5	21.8	58.0	83.3	92.6	100.0

表4 - 5 調査員の世帯訪問回数別回収状況（当初回収時）

	当初回収時												
	世帯数	うち回収できた割合（％）	訪問回数別割合（％）										
			訪問回数別回収できた割合（％）					（別掲）訪問回数別回収できた累計（％）					
			1回	2回	3回	4回	5回以上	1回	2回	3回	4回	5回以上	
総数	5,578	47.8	27.4	11.4	5.6	2.5	0.8	57.4	81.4	93.0	98.2	100.0	
配方法													
フォローアップ回収事務調査員継続型	2,804	38.9	21.3	8.9	5.2	2.7	0.8	54.7	77.5	91.0	98.0	100.0	
フォローアップ回収事務調査員縮小型	2,774	56.8	33.7	14.0	5.9	2.3	0.9	59.3	84.0	94.4	98.4	100.0	
地域特性	調査困難地域	1,500	31.5	16.5	9.3	3.8	1.5	0.3	52.5	82.2	94.3	98.9	100.0
	オートロックマンション	736	43.2	22.3	13.5	5.6	1.5	0.4	51.6	82.7	95.6	99.1	100.0
	単身者が居住する住宅の多い地域	764	20.2	11.0	5.4	2.1	1.4	0.3	54.5	81.2	91.6	98.7	100.0
	学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般地域	4,078	53.8	31.4	12.2	6.2	2.9	1.0	58.5	81.2	92.7	98.1	100.0
	一戸建の多い地域	1,745	63.4	45.6	11.6	4.4	1.1	0.6	72.0	90.3	97.2	99.0	100.0
共同住宅の多い地域	2,333	46.6	20.8	12.6	7.6	4.2	1.3	44.7	71.8	88.2	97.1	100.0	
配布状況	配布時に面接可	3,927	59.8	36.6	13.6	6.1	2.8	0.8	61.2	84.0	94.1	98.7	100.0
	配布時に面接不可	1,506	17.9	4.4	5.9	4.6	1.9	1.1	24.9	58.0	83.6	94.1	100.0

ウ フォローアップ回収時

フォローアップ回収時における調査員の1世帯当たりの平均訪問回数をみると、3.4回となっている。

これを地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」（3.9回）が最も多くなっている。

次に、世帯に面接できた割合をみると34.7%となっており、調査票を回収できた割合は19.2%となっている。

これを訪問回数別にみると、2回訪問して面接できた割合（9.3%）と、2回訪問して回収できた割合（5.9%）が最も高くなっている。

また、調査票配布時の世帯との面接状況別にみると、世帯と面接できて調査票を配布した場合の調査票を回収できた割合は28.5%で、面接できずに調査票を配布した場合の調査票を回収できた割合は8.5%となっている。

表4 - 6 調査員の世帯訪問回数（フォローアップ回収時）

	フォローアップ回収時							
	世帯数	訪問回数別割合（％）					（別掲）1世帯当たり平均訪問回数	
		1回	2回	3回	4回	5回以上		
総数	3,911	16.9	18.6	27.1	17.6	19.9	3.4	
配方法								
フォローアップ回収事務調査員継続型	2,108	17.4	22.5	30.6	15.0	14.5	3.1	
フォローアップ回収事務調査員縮小型	1,803	16.3	14.0	22.9	20.7	26.1	3.6	
地域特性	調査困難地域	1,588	14.4	16.2	13.7	30.0	25.8	3.7
	オートロックマンション	558	19.5	16.8	14.3	24.2	25.1	3.4
	単身者が居住する住宅の多い地域	1,030	11.6	15.8	13.3	33.2	26.1	3.9
	学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-
	一般地域	2,323	18.6	20.2	36.2	9.1	15.8	3.1
	一戸建の多い地域	519	21.2	38.0	30.1	4.8	6.0	2.4
共同住宅の多い地域	1,804	17.9	15.1	38.0	10.4	18.7	3.3	
配布状況	配布時に面接可	1,821	20.8	24.5	26.4	12.0	16.4	3.1
	配布時に面接不可	1,896	12.8	12.2	27.7	23.3	23.9	3.7

表4-7 調査員の世帯訪問回数別面接状況（フォローアップ回収時）

	フォローアップ回収時											
	世帯数	うち面接できた割合（％）	訪問回数別割合（％）					訪問回数別面接できた累計（％）				
			1回	2回	3回	4回	5回以上	1回	2回	3回	4回	5回以上
総数	3,911	34.7	9.0	9.3	7.4	3.8	5.2	25.9	52.7	73.9	84.9	100.0
配方法												
フォローアップ回収事務調査員継続型	2,108	30.2	7.4	9.1	6.9	2.5	4.3	24.6	54.8	77.6	85.9	100.0
フォローアップ回収事務調査員縮小型	1,803	39.9	10.8	9.5	7.9	5.3	6.4	26.9	50.8	70.7	84.0	100.0
地域特性												
調査困難地域	1,588	28.1	4.5	6.4	6.0	5.0	6.2	16.1	38.8	60.1	77.8	100.0
オートロックマンション	558	41.4	7.5	8.6	9.1	9.3	6.8	18.2	39.0	61.0	83.5	100.0
単身者が居住する住宅の多い地域	1,030	20.9	2.9	5.1	4.3	2.6	5.9	14.0	38.6	59.1	71.6	100.0
学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般地域	2,323	39.2	12.0	11.3	8.3	3.0	4.6	30.6	59.5	80.7	88.4	100.0
一戸建の多い地域	519	56.5	16.6	21.8	12.7	1.9	3.5	29.4	67.9	90.4	93.9	100.0
共同住宅の多い地域	1,804	34.3	10.7	8.3	7.0	3.3	4.9	31.2	55.5	76.1	85.8	100.0
配布時状況												
配布時に面接可	1,821	50.9	14.2	14.7	10.3	5.2	6.5	27.9	56.7	77.0	87.3	100.0
配布時に面接不可	1,896	18.0	2.9	3.8	4.5	2.6	4.2	16.1	37.2	62.2	76.8	100.0

表4-8 調査員の世帯訪問回数別回収状況（フォローアップ回収時）

	フォローアップ回収時											
	世帯数	うち回収できた割合（％）	訪問回数別回収できた割合（％）					訪問回数別回収できた累計（％）				
			1回	2回	3回	4回	5回以上	1回	2回	3回	4回	5回以上
総数	3,911	19.2	4.5	5.9	4.3	1.7	2.8	23.6	54.1	76.4	85.2	100.0
配方法												
フォローアップ回収事務調査員継続型	2,108	14.8	2.8	5.5	3.5	1.2	1.9	18.9	56.1	79.5	87.5	100.0
フォローアップ回収事務調査員縮小型	1,803	24.3	6.5	6.3	5.3	2.3	4.0	26.9	52.6	74.3	83.6	100.0
地域特性												
調査困難地域	1,588	13.5	2.3	4.1	2.7	1.6	2.8	17.2	47.4	67.4	79.5	100.0
オートロックマンション	558	14.5	2.9	4.3	2.7	2.3	2.3	19.8	49.4	67.9	84.0	100.0
単身者が居住する住宅の多い地域	1,030	13.0	2.0	4.0	2.7	1.3	3.0	15.7	46.3	67.2	76.9	100.0
学生寮のある地域	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般地域	2,323	23.1	6.0	7.1	5.4	1.7	2.9	26.1	56.7	80.0	87.5	100.0
一戸建の多い地域	519	38.7	9.2	16.0	10.0	1.3	2.1	23.9	65.2	91.0	94.5	100.0
共同住宅の多い地域	1,804	18.6	5.1	4.5	4.0	1.8	3.1	27.5	51.6	73.4	83.3	100.0
配布時状況												
配布時に面接可	1,821	28.5	6.7	9.3	6.2	2.6	3.6	23.5	56.3	78.0	87.3	100.0
配布時に面接不可	1,896	8.5	1.2	2.2	2.3	0.8	2.1	14.2	39.5	66.0	75.9	100.0

(2) 時間帯別訪問回数

世帯への訪問時間帯別の訪問回数をみると、調査票配布時、当初回収時及びフォローアップ回収時ともに、昼の訪問の割合が高くなっている。

これを調査期間別にみると、調査票配布時、当初回収時、フォローアップ回収時と調査期間が経過するにつれて、朝及び昼の訪問の割合が低くなり、夜の訪問の割合が高くなっている。

表4-9 調査員の時間帯別訪問状況

	訪問回数	調査票配布時			当初回収時			フォローアップ回収時				
		訪問時間帯別割合（％）			訪問時間帯別割合（％）			訪問時間帯別割合（％）				
		朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜		
総数	30,036	9.0	61.4	29.6	11,639	8.8	55.4	35.8	12,794	8.1	51.4	40.5
地域特性												
調査困難地域	10,107	9.3	66.7	24.1	3,910	10.3	57.7	32.0	5,901	8.4	56.6	35.0
オートロックマンション	4,495	10.0	64.1	26.0	1,642	12.5	44.4	43.1	1,857	8.2	58.6	33.1
単身者が居住する住宅の多い地域	5,483	8.9	70.3	20.8	2,268	8.6	67.3	24.1	4,044	8.5	55.6	35.9
学生寮のある地域	129	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
一般地域	19,929	8.9	58.7	32.4	7,729	8.1	54.3	37.7	6,893	7.8	47.0	45.2
一戸建の多い地域	7,169	11.0	64.8	24.2	2,610	9.5	64.2	26.3	1,146	8.6	57.5	33.9
共同住宅の多い地域	12,760	7.7	55.3	37.0	5,119	7.3	49.2	43.4	5,747	7.6	44.9	47.5

注) 朝：午前9時まで 昼：午前9時～午後6時まで 夜：午後6時以降

## 5 『世帯名簿』に対応した調査票の配り分けについて

調査員が、『世帯名簿』に記入した当該世帯の「世帯番号」と調査票を収納した『調査書類整理用封筒』の「世帯番号」を一致しているかを確認して配布することについては、77人（35.3%）の調査員から意見があった。

表5 『世帯名簿』に対応した調査票の配り分けについて気付いた点の有無

	総数	気付いた点なし	気付いた点あり	不詳
実数	218	129	77	12
構成比（%）	100.0	59.2	35.3	5.5

### 【主な意見】

- ・ 『調査書類整理用封筒』の「調査員記入欄」は、封筒を『調査書類入れ』（手さげ袋）に入れた時にも確認しやすい位置にあったほうがよい。
- ・ 1世帯に調査票を2枚以上配布する際の事務が煩雑である。
- ・ 「世帯番号」が一致しているかを確認するのに手間はかかるが、配布誤りは起こりにくい。
- ・ 面接できた世帯の順に、「世帯番号」を記入する方式の場合、『調査区要図』の「世帯番号」が順不同になり、後々の管理が大変である。

（事前に『世帯名簿』を記入して、調査票を収納した『調査書類整理用封筒』を配布した調査員からの意見）

- ・ 配布誤りがないように確認するのに時間がかかった。
- ・ 『調査書類整理用封筒』に付箋等で、「世帯主又は代表者の姓」又はマンションの部屋番号などをメモしておくこと、配布誤りは起こりにくい。
- ・ 事前に「世帯番号」を記入して配布するので、どの世帯に調査票を配布していないかが確認しやすい。

## 6 調査票の配布の際の訪問回数の上限について

調査員が、調査票の配布の際に世帯が不在であった場合には、日・時間を変えるなどして訪問することとし、3回訪問しても面接できなかった場合に、調査票を郵便受けに入れるなどして配布することについて、「上限を設けたほうがよい」との意見と、「上限を設けないほうがよい」との意見を比較すると、「上限を設けたほうがよい」(12.8%)の割合のほうが高くなっている。

表6 調査票の配布の際の訪問回数の上限について気付いた点の有無

	調査員数	構成比(%)				不詳	
		気付いた点なし	気付いた点あり	うち上限を設けたほうがよい	うち上限を設けないほうがよい		
総数	218	34.4	61.9	12.8	2.8	3.7	
国勢調査経験	国勢調査経験あり	89	31.5	67.4	14.6	5.6	1.1
	国勢調査経験なし	129	36.4	58.1	11.6	0.8	5.4
地域特性	調査困難地域	62	40.3	56.5	11.3	-	3.2
	オートロックマンション	30	50.0	46.7	13.3	-	3.3
	単身者が居住する住宅の多い地域	32	31.3	65.6	9.4	-	3.1
	一般地域	156	32.1	64.1	13.5	3.8	3.8
	一戸建の多い地域	78	37.2	59.0	12.8	3.8	3.8
	共同住宅の多い地域	78	26.9	69.2	14.1	3.8	3.8

### 【主な意見】

- ・ 郵便受けが広告等であふれている場合、世帯が調査票を受け取ったかどうか不安になる。
- ・ 調査票を郵便受けに入れるなどして配布する際に、居住状況が判断しづらい場合があり、このようなとき配布すべきかどうか悩む。

## 7 世帯の居住確認の状況

調査員が、居住状況を確認するのが困難な世帯があった調査区の割合は59.6%となっている。

これを地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」(65.0%)及び「共同住宅の多い地域」(65.0%)で困難ありの割合が高くなっている。

次に、調査員の担当地域の世帯の認知度別にみると、「担当地域の世帯をよく知っていた」で困難ありの割合が26.2%と著しく低くなっている。

また、1調査区における居住確認が難しかった世帯数は、「1～5世帯」の割合が高くなっているが、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」では、「20世帯以上」の割合も高くなっている。

表7 世帯の居住確認の状況

	調査区数	構成比(%)						不詳	
		困難なし	困難あり(注)	1～5世帯	6～10世帯	11～19世帯	20世帯以上		
総数	280	36.1	59.6	32.9	4.6	2.9	2.9	4.3	
地域特性	調査困難地域	80	36.3	60.0	30.0	2.5	1.3	7.5	3.8
	オートロックマンション	40	37.5	55.0	30.0	2.5	-	-	7.5
	単身者が居住する住宅が多い地域	40	35.0	65.0	30.0	2.5	2.5	15.0	-
	一般地域	200	36.0	59.5	34.0	5.5	3.5	1.0	4.5
認知度	一戸建の多い地域	100	43.0	54.0	40.0	5.0	-	1.0	3.0
	共同住宅の多い地域	100	29.0	65.0	28.0	6.0	7.0	1.0	6.0
認知度	担当地域の世帯をよく知っていた	42	69.0	26.2	16.7	2.4	-	-	4.8
	担当地域の世帯を多少知っていた	69	31.9	65.2	37.7	4.3	7.2	-	2.9
	担当地域の世帯をほとんど知らなかった	164	29.9	67.1	36.0	5.5	1.8	4.9	3.0

注) 居住確認が困難な世帯数「不詳・無回答」を含む。

### 【居住確認が困難だった主な例】

- ・ 郵便受けがチラシなどであふれている住宅。
- ・ 表札はあるが、人の気配がまったくしない住宅。
- ・ 事務所として使用されている住宅。
- ・ アパートやマンション等で、玄関や集合ポストに表札がない住宅。
- ・ 単身世帯が居住している住宅。
- ・ 長期入院・長期出張の世帯。

### 【居住確認のための主な対応方法】

- ・ 電気メータ・ガスメータの確認、郵便受けの使用状況、カーテン・洗濯物の有無の確認。
- ・ 近隣からの聴取。
- ・ 管理人に居住状況の確認。

## 8 調査票ID及び確認コードなどについて世帯からの質問・意見の状況

調査票に印刷されているインターネット回答用の調査票ID及び確認コードなどについて、世帯から質問があった調査区の割合は3.2%となっている。

また、1調査区における質問のあった世帯数は、すべての地域特性で「1～5世帯」となっている。

表8 調査票ID及び確認コードなどについて質問の有無

	調査区数	構成比(%)					
		質問なし	質問あり 注)	1～5世帯		不詳	
				1～5世帯	6世帯以上		
総数	280	94.3	3.2	3.2	-	2.5	
地域特性	調査困難地域	80	92.5	2.5	2.5	-	5.0
	オートロックマンション	40	90.0	2.5	2.5	-	7.5
	単身者が居住する住宅が多い地域	40	95.0	2.5	2.5	-	2.5
	一般地域	200	95.0	3.5	3.5	-	1.5
	一戸建の多い地域	100	97.0	3.0	3.0	-	-
	共同住宅の多い地域	100	93.0	4.0	4.0	-	3.0

注) 質問があった世帯数「不詳・無回答」を含む。

### 【主な質問・意見】

- ・ 調査票ID、確認コードの意味・必要性について。

## 9 調査票の提出方法に関して世帯からの質問・意見の状況

調査票の提出方法について、世帯から質問があった調査区の割合は20.7%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問があった割合が最も高いのは、「一戸建の多い地域」(29.0%)となっている。

また、周知方法別にみると、世帯から質問があった調査区の割合は変わらないが、「新たな提出方法の強調周知型」では、1調査区における質問のあった世帯数は「11世帯以上」の割合が2.1%となっている。

表9 調査票の提出方法に関して質問の有無

	調査区数	構成比(%)						
		質問なし	質問あり 注)	1～5世帯			不詳	
				1～5世帯	6～10世帯	11世帯以上		
総数	280	76.1	20.7	11.8	0.4	1.1	3.2	
地域特性	調査困難地域	80	83.8	12.5	10.0	-	1.3	3.8
	オートロックマンション	40	77.5	15.0	12.5	-	-	7.5
	単身者が居住する住宅が多い地域	40	90.0	10.0	7.5	-	2.5	-
	一般地域	200	73.0	24.0	12.5	0.5	1.0	3.0
	一戸建の多い地域	100	68.0	29.0	13.0	-	2.0	3.0
	共同住宅の多い地域	100	78.0	19.0	12.0	1.0	-	3.0
周知方法	新たな提出方法の強調周知型	140	75.0	20.0	11.4	-	2.1	5.0
	多様な提出方法の並列周知型	140	77.1	21.4	12.1	0.7	-	1.4

注) 質問があった世帯数「不詳・無回答」を含む。

【主な質問】

- ・ 調査員への提出ではなく、郵送提出又はオンライン回答を行ってもよいか。
- ・ 郵送提出期限、調査員の回収に来る日時の確認。

(オンライン回答について)

- ・ 調査区番号の欄がエラーとなるが、入力も続けてもよいか。
- ・ 携帯電話でも回答できるのか。
- ・ 使用しているパソコンの機種が古く、接続できなかった。

10 フォローアップ回収に関して世帯からの質問・意見の状況

フォローアップ回収について、世帯から質問があった調査区の割合は25.0%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問があった割合が高いのは、「共同住宅の多い地域」(30.0%)及び「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」(27.5%)となっている。

表10 フォローアップ回収に関して質問の有無

	調査区数	構成比(%)					不詳	
		質問なし	質問あり (注)	1~5世帯	6~10世帯	11世帯以上		
総数	280	60.0	25.0	14.3	0.4	-	15.0	
地域特性	調査困難地域	80	57.5	25.0	20.0	1.3	-	17.5
	オートロックマンション	40	62.5	22.5	17.5	2.5	-	15.0
	単身者が居住する住宅が多い地域	40	52.5	27.5	22.5	-	-	20.0
	一般地域	200	61.0	25.0	12.0	-	-	14.0
地域特性	一戸建の多い地域	100	63.0	20.0	9.0	-	-	17.0
	共同住宅の多い地域	100	59.0	30.0	15.0	-	-	11.0
配置方法	フォローアップ回収事務調査員継続型	136	59.6	27.9	19.1	-	-	12.5
	フォローアップ回収事務調査員縮小型	144	60.4	22.2	9.7	0.7	-	17.4

注) 質問があった世帯数「不詳・無回答」を含む。

【主な質問】

- ・ 調査票は必ず提出しなければならないのか。
- ・ 既に郵送提出したが届いていないのか。
- ・ なぜ一部の地域だけで調査を行っているのか。
- ・ 調査票を紛失した、捨ててしまった。

## 11 調査票の書き方などについての質問・意見の状況

調査票の書き方などについて、世帯から質問を受けた調査員の割合は39.0%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問があった割合が最も高いのは、「一戸建の多い地域」(46.2%)となっている。

また、調査票の種類別にみると、「調査票甲」のほうが、世帯から質問があった割合が高くなっている。

表11 調査票の書き方などに関して質問の有無

	調査員数	構成比(%)					不詳
		質問なし	質問あり (注)	世帯			
				1~5世帯	6~10世帯	11世帯以上	
総数	218	56.4	39.0	31.2	3.2	2.8	4.6
地域特性							
調査困難地域	62	67.7	29.0	24.2	-	3.2	3.2
オートロックマンション	30	76.7	20.0	20.0	-	-	3.3
単身者が居住する住宅が多い地域	32	59.4	37.5	28.1	-	6.3	3.1
一般地域	156	51.9	42.9	34.0	4.5	2.6	5.1
一戸建の多い地域	78	48.7	46.2	35.9	5.1	3.8	5.1
共同住宅の多い地域	78	55.1	39.7	32.1	3.8	1.3	5.1
調査票							
調査票甲	105	52.4	42.9	34.3	1.9	2.9	4.8
調査票乙	113	60.2	35.4	28.3	4.4	2.7	4.4

注) 質問があった世帯数「不詳・無回答」を含む。

### 【主な質問・意見】

#### (住宅の床面積の合計)

- ・ 床面積が分からない。
- ・ 「坪」から「㎡」への換算方法が分からない。

#### (勤め先・業主などの名称及び事業の内容)

- ・ 複数の事業を営んでいる場合の書き方が分からない。
- ・ 「事業の内容」について、どのように記入したらよいか分からない。

#### (高齢者を中心として)

- ・ 調査票全体について、どのように記入したらよいか分からない。
- ・ 書き方が分からないので、一緒に記入してほしい。

#### (その他)

- ・ ボールペンでの記入はできないのか。
- ・ 一部の項目については、プライバシーに深く関わるので記入したくない。

## 12 調査方法についての意見・提案

### 【調査票の配布】

- ・ 調査員の記入する箇所が多い等、調査員の事務が煩雑であった。もう少し簡素化、効率化を図ってほしい。
- ・ 世帯に配布する調査用品が多い。もっと種類を少なくしたほうがよい。
- ・ 居住状況を確認するのが困難な世帯や居留守の世帯、世帯主の姓を聞いても教えてくれない世帯などがあり、『世帯名簿』の作成が困難である。『世帯名簿』作成前に管理会社等に居住状況を確認したり、住民票等の行政情報があると、事務が円滑に行えるのではないかな。
- ・ 不在のため調査書類を世帯の郵便受けに投函する場合、世帯に必要な枚数の調査票を配布できているか不安である。
- ・ なかなか面接できない世帯があるため、調査票配布時に面接できた世帯には、提出方法を確認したほうがよいのではないかな。

### 【調査票の回収】

- ・ 提出方法を選択できることは、世帯にとってはよいのではないかな。
- ・ 郵送で提出すると申し出た世帯から、最終的に調査票が提出されていないケースがあった。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』に入れて、調査員に提出する世帯があった。
- ・ フォローアップ回収は、調査員継続型のほうが調査員事務を円滑に行うことができる。
- ・ 共同住宅では、近隣の人に聞いても居住状況が分からない場合が多く、聞き取り調査を行うことも困難である。

### 【その他】

- ・ 調査員は、顔見知りや地理的に詳しい人を配置したほうが事務を円滑に行えるのではないかな。
- ・ 試験調査とはいえ、もう少し試験調査の意義を伝えるような広報が必要ではないかな。

## 13 調査書類・用品についての意見・提案

### 【調査書類・用品全般】

- ・ 調査書類・用品の量、種類が多い。
- ・ 調査活動中に不足が生じたので、予備を多めに配布してほしい。

### 【調査票】

- ・ 文字をもう少し大きくしたほうがよい。
- ・ 文字の色が見にくかったので、もう少し見やすい色にしたほうがよい。
- ・ ボールペンで記入できるほうがよい。
- ・ 2枚目用の調査票があったほうがよい。

- ・ 調査票を大きくして1枚で6名まで記入できるようにすれば、ほとんどの世帯が1枚で記入できるようになるのではないか。

【調査区要図】

- ・ 記入できるスペースが小さすぎて記入しづらい。

【調査書類整理用封筒】

- ・ 調査員に提出する場合でも、『調査票郵送提出用封筒』で提出してもらえば、『調査書類整理用封筒』は必要ないのではないか。

【調査書類入れ（手さげ袋）】

- ・ 自転車のカゴに入れるために、縦長にするか、大きさを少し小さくしてほしい。
- ・ 雨天の時でも調査活動を行えるように、防水加工を施してほしい。

14 平成22年国勢調査の実施に向けての意見・提案

【広報・協力依頼】

- ・ 調査結果の利活用状況を積極的に広報し、調査の意義・重要性を認識してもらう必要がある。
- ・ 大学や企業を通じて協力依頼の実施が必要である。
- ・ 個人情報保護法と統計法との関係をもっと広報するべきである。
- ・ 世帯に対して何かインセンティブを与えてみてはどうか。
- ・ 不動産会社・管理会社等の協力又は管理人・管理会社への調査の委託が必要である。

【その他】

- ・ 高齢者に配慮した調査方法や、調査票及び『調査票の記入のしかた』などの文字の大きさ、表現などに工夫が必要である。

## 第2 指導員記録表

### 1 指導員の基本属性

指導員は35人で、男女別にみると男性が9人（25.7%）、女性が26人（74.3%）となっている。

また、年齢階級別にみると、60歳代が最も多く15人（42.9%）、次いで50歳代が11人（31.4%）となっている。

表1 指導員の基本属性

		実数	構成比（%）
総数		35	100.0
性別	男	9	25.7
	女	26	74.3
年齢階級	30歳代	3	8.6
	40歳代	4	11.4
	50歳代	11	31.4
	60歳代	15	42.9
	70歳以上	2	5.7

### 2 担当地域の施設・団体への協力依頼状況

市区町から指示された施設・団体の確認で、困ったことがあったと答えた指導員は7人（20.0%）となっている。

#### 【主な内容】

- ・ ポスター貼付のための備品（セロテープなど）の要求
- ・ 共同住宅、オートロックマンションの管理人が不在
- ・ マンション管理人の調査への非協力

### 3 調査員への指導・支援状況

#### (1) 調査員からの質問・相談件数

調査の進み具合や調査方法などについての調査員からの質問や相談の件数は、調査票の配布期間中、当初回収期間中、フォローアップ回収期間中ともにそれぞれ0件と答えた指導員が最も多く、指導員1人当たりの調査員からの質問・相談件数は、それぞれ2.7件、1.2件、1.2件となっている。

表3 調査員からの質問・相談件数

	指導員数					総件数	指導員1人当たりの質問・相談件数
	0件	1～5件	6～10件	10～15件	16件以上		
調査票の配布期間中	21	10	2	1	1	95件	2.7件
当初回収期間中	28	4	2	-	1	41件	1.2件
フォローアップ回収期間中	25	8	1	1	-	42件	1.2件

#### 【主な内容】

##### (調査票の配布期間中)

- ・ 不在世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 1世帯に調査票を2枚配布する際の調査票(調査員記入欄)及び『世帯名簿』の記入方法
- ・ 世帯のとらえ方などの調査対象、定義

##### (当初回収期間中)

- ・ 不在世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 提出された調査票の取扱い

##### (フォローアップ回収期間中)

- ・ 不在世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 調査票配布時の調査員の説明不足による世帯からの苦情への対応方法
- ・ 調査票の再配布が多数生じていることの相談

(2) 調査活動中の指導・支援の内容

【主な内容】

- ・ 調査員への同行
- ・ 調査の進め方のアドバイス
- ・ 不在世帯への訪問時間のアドバイス
- ・ 調査区の範囲の確認
- ・ 調査地域へのポスター掲示依頼
- ・ マンション等の管理会社への協力依頼

4 調査書類の検査状況

(1) 『調査区要図』と『世帯名簿』の照合

『調査区要図』と『世帯名簿』を照合した結果、不一致があったと回答した指導員は13人（37.1%）となっている。

不一致のあった調査区数ごとの不一致件数をみると、不一致のあった調査区数は1調査区で、不一致の件数は1件と回答した指導員が最も多くなっている。

表4 - 1 『調査区要図』と『世帯名簿』の照合状況

	総数	不一致なし	不一致あり	不一致のあった調査区数				不詳
				1調査区	2調査区	3調査区	不詳	
指導員数	35	18	13	6	2	2	3	4
構成比(%)	100.0	51.4	37.1	17.1	5.7	5.7	8.6	11.4

表4 - 2 不一致のあった調査区数ごとの不一致件数

	指導員数	不一致件数					
		1件	2件	3件	4～29件	30件以上	不詳
総数	13	5	1	2	-	1	4
不一致調査区数	1調査区	5	-	1	-	-	-
	2調査区	-	1	-	-	-	1
	3調査区	-	-	1	-	1	-
	不詳	-	-	-	-	-	3

(2) 『世帯名簿』の清書に要した時間

『世帯名簿』の清書に要した時間は、5～10時間未満の指導員が14人と最も多く、平均では6.2時間となっており、1調査区あたりでは0.8時間となっている。

表4 - 3 『世帯名簿』の清書に要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	平均	1調査区当たりの所要時間
指導員数	2	6	14	8	6.2時間	0.8時間

【主な意見・提案】

- ・ 『世帯名簿』の行を広くしてほしい。
- ・ 調査票IDの桁数を少なくするなど、分かりやすい数字にできないか。
- ・ 世帯主が同じ姓の場合があるので、氏名を記入したほうがよい。
- ・ 手書きは大変なので、Web上に調査員又は指導員入力用の『世帯名簿』のフォームがあるとよい。
- ・ カーボン複写式の『世帯名簿』は、訂正時に消しゴムが使えないので困る。

5 調査票未提出世帯の特定・調査員への伝達状況

(1) 調査票未提出世帯の特定に要した時間

調査票未提出世帯の特定に要した時間は、1～2時間未満及び2～3時間未満の指導員がともに7人と最も多く、平均では1.7時間となっており、1調査区あたりでは0.2時間となっている。

表5 - 1 調査票未提出世帯の特定に要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	平均	1調査区当たりの所要時間
指導員数	3	7	7	4	5	1.7時間	0.2時間

(2) 調査票未提出世帯の調査員への伝達に要した時間

調査票未提出世帯の調査員への伝達に要した時間は、3時間以上の指導員が3人と最も多く、平均では2.9時間となっており、1調査区あたりでは0.4時間となっている。

表5 - 2 調査票未提出世帯の調査員への伝達に要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間以上	平均	1調査区当たりの所要時間
指導員数	2	2	2	3	2.9時間	0.4時間

(3) フォローアップ回収期間中において調査票の提出状況を調査員に伝達する頻度、手段

- ・ 電話で伝達。
- ・ 伝達は調査員1名につき1回のみ。パソコンのメールで伝達。
- ・ フォローアップ回収期間中の提出状況は、その都度連絡。

(4) 調査票未提出世帯の特定・調査員への伝達についての意見・提案

- ・ 件数(平均1日1件程度)は考えていたよりも少なかったが、本調査を考えると、電話連絡というのは現実的ではない。
- ・ 「受付状況確認リスト」に記載されている世帯主の氏名が、『世帯名簿』に記入されている世帯主の姓と違う場合の対応に苦慮した。
- ・ 2世帯住宅に居住する世帯からの郵送提出が1世帯分しかない場合、未提出か、同封されているか、判断しにくい。

## 6 『単位区別調査対象数リスト』の作成状況

『単位区別調査対象数リスト』の作成に要した時間は、1時間未満の指導員が12人と最も多く、平均では0.9時間となっており、1単位区当たりでは0.1時間となっている。

表6 『単位区別調査対象数リスト』の作成に要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間以上	平均	1単位区当たりの所要時間
指導員数	12	5	3	2	0.9時間	0.1時間

## 7 調査書類・用品についての意見・提案

### 【指導員事務の手引】

- ・ 詳しくするより簡素なほうがよい。
- ・ 『調査の手引』は細かく順番に書く必要があるが、『指導員事務の手引』は行わなければならないことだけ簡単に書けばよい。
- ・ 何回読んでもよく理解できなかった。職員から直接指導を受けたほうがよい。
- ・ 何回か読むと調査の流れがよくわかり、参考になった。
- ・ 例外のパターンをもう少し書いてほしい。
- ・ 初めに『調査の手引』を数回読んでいると、『指導員の手引』と共通点が多くあり、わかりやすかった。

### 【調査の手引】

- ・ もっとわかりやすくした方がよい。
- ・ 調査員が家で予習、復習するには十分な内容だが、説明会の際に短時間で読みながら理解するには少々難しいと思われるので、もう少し簡略化してほしい。
- ・ 詳しすぎてわかりにくかった。調査票にID番号が印刷されていることなど従来と違う部分を強調したほうがよい。
- ・ 『世帯名簿』の記入例はできるだけ多くの例を記載してほしい。(調査票を3枚配布する場合、インターネットで回答をした世帯の記入例等)
- ・ 参考となる質疑応答が多めにあってよかった。

### 【世帯名簿】

- ・ 訂正することを考慮して、行を広くしてほしい。
- ・ 世帯名簿番号、行番号、調査票ID、調査区番号、世帯番号など番号が多く、それらが関連していることがわかりにくいため、大切な点を見落とし、配布した調査票の把握ができなくなっている。
- ・ 『世帯名簿』と調査票の調査票IDを一致させて配布するのは困難。(世帯への調査票2枚配布時、世帯の紛失による調査票再配布時など)
- ・ 調査員が『世帯名簿』と調査票の調査票IDを合わせなかったため、『世帯名簿』の清書に非常に苦労した。
- ・ 用紙が複写式になっていて使いにくかった。清書ではなくコピーでよいのではないか。
- ・ 『世帯名簿』自体に調査票IDの説明を記載してはどうか。
- ・ 世帯人員が多い調査区は、備考欄に記載する「調査票2枚目配布」を記号にするなど記入を簡素化したほうがよい。

### 【受付状況確認リスト】

- ・ 氏名だけでなく、住所がわかるとよい。配布誤りがあった場合、世帯の特定が困難だった。
- ・ 名字が判読できないものがあった。
- ・ 便利でわかりやすかった。
- ・ 2枚目の調査票については、そのことをわかりやすく表示したほうがよい。
- ・ 郵送提出とインターネット回答を同列にし、備考にその区分を表示した方がよい。(右側のインターネット回答分を見落としそうになる。)
- ・ 郵送提出されてから「受付状況確認リスト」が登録されるまでの時間が長い。郵送提出の状況について役所に尋ねても、提出の確認がとれない世帯があった。

## 【その他】

- ・ 用品の予備は多めにほしい。
- ・ 調査票の調査票IDの数字が小さい。
- ・ 『調査書類整理用封筒』の大きさが中途半端な上、記入部分が多いため、調査員の準備に手間がかかる。
- ・ 郵送提出にするのであれば、すぐ記入してポストに入れたいような視覚に訴える工夫が必要。配布する書類が多いと封筒のまま放置される。
- ・ 用品の量が多く調査員が持ち歩くのに大変である。世帯が読んでもらえるものだけにした方がよい。
- ・ 『調査書類入れ』（手さげ袋）は縦長がよい。
- ・ 筆記具セットは再利用してはどうか。
- ・ 学生アパートなどでは、『連絡メモ』を訪問の都度使用するため、多めにほしい。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』と『アンケート提出用封筒』は色を変えたほうがよかった。
- ・ 『調査区要図』は、マンションなどの引き出し図を記入するための余白を広くしてほしい。
- ・ 他の人が作成した書類を点検するのは難しい。

## 8 平成22年国勢調査の実施に向けての意見・提案

### 【調査について】

- ・ 単身者（特に高齢者）への対応が大変である。
- ・ 回収率の向上も重要だが、調査票IDによる管理など手段を細かくし過ぎると、調査員の引き受け手がいなくなるなど、調査の実施自体が難しくなる。
- ・ 今回の試験調査に関しては、調査員も指導員も仕事はやりやすく容易であった。
- ・ オートロックマンションは、マンション管理人又は管理会社が調査員になるとよい。一般の調査員では難しい。
- ・ 初めての調査員でも円滑に調査をするためには、十分な説明と理解が必要。視覚的にわかりやすいビデオや見本を使い、調査員を未経験者と経験者と分けて説明するなどの工夫も必要。
- ・ 郵送提出が多くなると調査票の記入不備が増えるのではないか。郵送提出、封入提出は少ないほうがよく、調査員回収で調査員が自宅で点検する方法がよい。

### 【調査票の提出について】

- ・ 郵送提出、インターネット回答について、広報を上手に活用し、便利で確実な提出方法という意識を強く定着させ、調査は面倒というイメージを少しでも払拭することが重要。特に協力意識が低いと思われる男性単身者に対する広報（イメージキャラクター、人の集まる所での広報）が重要。
- ・ 地方では調査員回収が一番確実で、指導員も従来どおりの方法のほうが安心して調査ができる。
- ・ 調査員の手間と経費の面から郵送回収とインターネット回答のみでもよいのではないか。
- ・ インターネット回答はもっと簡単に入力できるようにできないか。
- ・ 封入提出する場合、調査票枚数が確認できるよう封筒に切込みがほしい。
- ・ 任意封入提出にするべき。
- ・ 不在世帯にポストイングした調査票が返送されることはほとんどない。
- ・ 調査票配布時に3回訪問のみでは調査は無理。回収率を上げるためには、7、8回と足を運ぶ必要がある。

### 【調査員との連絡】

- ・ 指導員と調査員が電話番号を控えるだけでなく、話し合いの場を持つようにすると、親近感が湧いて連絡も取りやすくなる。
- ・ 指導員が調査員にどこまで関わってよいのか、どのようにフォローすればよいのかわからなかった。

### 【その他】

- ・ 世帯リーフレットを配布する時など、事前に調査の実施を面接して伝えておくことが、時間がかかってもその後の回収に大きく影響する。
- ・ 国勢調査員は公務員であることを調査書類に大きく記入する。
- ・ 世帯から調査票を回収した後、整理をしないで指導員に提出する調査員がいる。調査区番号、世帯番号など基本的なことを理解していない調査員もいる。
- ・ 個人情報保護と統計調査の関係について、正しく国民に周知してほしい。
- ・ 経験のない調査員の指導を徹底してほしい。

### 第3 調査状況等記録表

#### 1 指導員からの連絡・照会状況

指導員から市区町への連絡・照会件数は、9市区町の平均で6.4件となっている。

表1 指導員からの連絡・照会等件数

照会件数	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16件以上	9市区町 平均
市区町数	2	4	1	1	1	6.4件

#### 【主な内容】

- ・ 調査票の受付状況の確認(郵送、インターネットで提出済みの世帯の確認)
- ・ 『世帯名簿』の清書の方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法

#### 2 調査員からの連絡・照会状況

調査員から市区町への連絡・照会件数は、9市区町の平均で49.2件となっている。

表2 調査員からの連絡・照会等件数

照会件数	20～29件	30～39件	40～49件	50～59件	60～69件	70件以上	9市区町 平均
市区町数	3	1	1	1	2	1	49.2件

#### 【主な内容】

- ・ 調査書類・用品の不足についての連絡
- ・ 調査票の配布・回収などの方法(2枚目の調査票の配布の仕方、並列周知型で「郵送で提出する」と申し出のあった世帯への訪問など)
- ・ 非協力的な世帯への対応方法

### 3 世帯からの連絡・照会状況

世帯から市区町への連絡・照会件数は、9市区町の平均で41.0件となっている。

表3 世帯からの連絡・照会等件数

照会件数	1～19件	20～39件	40～59件	60件以上	9市区町 平均
市区町数	1	4	3	1	41.0件

#### 【主な内容】

- ・ 試験調査が本当に実施されているかの確認
- ・ 調査員への連絡（調査票回収日や回収方法の変更、調査票の不足等）
- ・ 調査票の記入の仕方

### 4 『調査書類整理用封筒』の開封状況

#### (1) 『調査書類整理用封筒』の開封状況

調査員回収分の調査票が封入されている『調査書類整理用封筒』の開封に要した時間は、9市区町の平均で6.7時間となっている。

また、市区町ごとの1件当たりの開封に要した時間は、0.5分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で1.1分となっている。

表4-1 『調査書類整理用封筒』の開封に要した時間

所要時間	5時間未満	5時間～ 10時間未満	10時間～ 20時間未満	20時間以上	9市区町 平均
市区町数	4	3	1	1	6.7時間
平均開封件数	292件	359件	553件	541件	371件

表4-2 『調査書類整理用封筒』1件当たりの開封に要した時間

1件当たりの 開封時間	0.5分未満	0.5分～ 1分未満	1分～ 1.5分未満	1.5分以上	9市区町 平均
市区町数	4	1	2	2	1.1分

(2) 調査票の調査区番号・世帯番号等の記入状況

『調査書類整理用封筒』から取り出した調査票の調査区番号・世帯番号等の記入漏れの件数をみると、市区町村コードは248件、調査区番号は97件、世帯番号が114件となっており、調査員回収分の世帯に占める割合（記入漏れ率）は、それぞれ7.4%、2.9%、3.4%となっている。

表4 - 3 開封した調査票の調査区番号・世帯番号等の記入状況

	市区町数						記入漏れ 総数	記入漏れ率
	記入漏れ なし	1～9件	10～19件	20～29件	30～39件	40件以上		
市区町村コード	1	2	2	2	-	2	248件	7.4%
調査区番号	1	4	3	-	1	-	97件	2.9%
世帯番号	-	5	2	-	2	-	114件	3.4%

(3) 『調査書類整理用封筒』の開封についての意見・提案

- ・ 今回の開封は職員のみで行った。本調査では世帯数が多いため、開封・整理のための場所や要員の確保が必要。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』に調査票を封入し、さらに『調査書類整理用封筒』に収納して提出されるケースが多数あった。『調査票郵送提出用封筒』は希望する世帯にのみ配布するなど工夫が必要。
- ・ 本調査では、開封後の封筒の処理（経費を含め）が問題になる。
- ・ 『調査書類整理用封筒』を用いて封入提出した場合、かさばる、調査員記入欄の記入漏れを確認できない、開封作業が定形封筒に比べ若干時間を要する、などの問題点がある。窓開き封筒の採用、定型化を検討してほしい。ただし、現在の『調査書類整理用封筒』に印刷されている調査票の提出方法の説明が小さくなるなど課題も残る。
- ・ 封筒の角に、切り込みがあれば調査票の回収枚数が確認でき、配布枚数をめれなく回収することができ、後の作業がスムーズにいく。
- ・ 開封時に、調査票を破損しないように注意を要した。
- ・ 調査員記入欄の記入漏れの多くは、世帯に配布した2枚目の調査票であった。ただし、1枚目の調査票や封筒に記入されている内容から、容易に補記は可能であった。

## 5 読み取り不能等の調査票の訂正状況

世帯が郵送提出した調査票のうち、市区町村コードや調査区番号などの未記入、調査票の汚れなどにより、調査票の読み取りが行えず市区町に回送（以下「統計局回送分」という。）された調査票の訂正に要した時間は、9市区町の平均で10.9時間となっている。

また、市区町ごとの統計局回送分の調査票1枚当たりの訂正に要した時間は、3分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で10.4分となっている。

表5 - 1 統計局回送分の調査票の訂正に要した時間

所要時間	5時間未満	5時間～ 10時間未満	10時間～ 15時間未満	15時間以上	9市区町 平均
市区町数	5	1	-	3	10.9時間
平均訂正枚数	49枚	93枚	-	76枚	63枚

表5 - 2 統計局回送分の調査票1枚当たりの訂正に要した時間

調査票1枚当たりの訂正時間	3分未満	3分～ 6分未満	6分～ 10分未満	10分～ 15分未満	15分以上	9市区町 平均
市区町数	4	2	-	1	2	10.4分

## 6 調査票未提出世帯の特定・指示状況

### (1) 市区町持参分及び統計局回送分の調査票と『世帯名簿』の照合状況

市区町持参分及び統計局回送分の調査票と『世帯名簿』の照合の結果、行番号・世帯番号・世帯主の姓の不一致があったのは7市区町で、その件数は件数不詳の2市区町を除き、5市区町で148件となっており、1件当たりの照合・訂正に要した時間は15分以上の市区町が最も多く、5市区町の平均で10.6分となっている。

また、不一致件数別の調査区数をみると、1～9件の調査区が最も多くなっており、不一致が50件以上は2調査区となっている。

表6-1 市区町持参分及び統計局回送分の調査票と『世帯名簿』の照合・訂正に要した時間

1件当たりの照合・訂正時間	5分未満	5分～10分未満	10分～15分未満	15分以上	5市区町平均
市区町数	1	1	1	2	10.6分

表6-2 不一致件数別にみた調査区数

不一致件数	1～9件	10～49件	50件以上	不一致件数(総数)	1調査区当たりの不一致件数
調査区数	17	-	2	148	7.8件

### (2) 「受付状況確認リスト」と『世帯名簿』の照合状況

指導員から「受付状況確認リスト」と『世帯名簿』の調査票IDが対応していないとの連絡があった市区町は7市区町で、その件数は件数不詳の4市区町を除き、3市区町で195件となっており、1件当たりの訂正に要した時間は、30分～1時間未満の市区町が多く、3市区町の平均で10.5分となっている。

また、不一致件数別の調査区数をみると、1～9件の調査区が最も多くなっており、40件以上は1調査区となっている。

表6-3 「受付状況確認リスト」等と『世帯名簿』の照合・訂正に要した時間

1件当たりの照合・訂正時間	30分未満	30分～1時間未満	3市区町平均
市区町数	1	2	10.5分

表6-4 不一致件数別にみた調査区数

不一致件数	1～9件	10～19件	20～29件	30～39件	40件以上	不詳	不一致件数(総数)	1調査区当たりの不一致件数
調査区数	34	3	2	-	1	6	195	4.2件

- (3) フォローアップ回収期間中における指導員との連絡状況
- ・ 調査票の受付状況について、直接調査員と連絡を行った。
  - ・ 新たに調査票が受付されたか否かにかかわらず、土日を除く毎日、すべての指導員に連絡を行った。
- (4) 指導員への調査票未提出世帯の特定・指示についての意見・提案
- ・ 指導員を経由すると時間がかかるので、直接調査員に指示したほうがよい。
  - ・ フォローアップ回収期間中に、毎日、「受付状況確認リスト」を確認して、調査票の受付状況を指導員に連絡することは困難である。
  - ・ 世帯が調査票を郵送で提出してから、「受付状況確認リスト」に登録されるのに、3～5日かかるため、行き違いのトラブルが危惧される。
  - ・ 調査員が『世帯名簿』と調査票の調査票IDを正しく対応させて配布していれば、調査票未提出世帯の特定は容易であるが、配布誤りがあると特定に時間がかかり、非常に困難である。

## 7 調査書類の審査状況

### (1) 速報人口・世帯数集計項目の審査

調査員回収分、市区町持参分及び統計局回送分の速報人口・世帯数集計項目の記入不備についての審査（OCR調査票審査分）に要した時間は、9市区町の平均で22.8時間となっている。

また、市区町ごとの1世帯当たりの審査に要した時間は2分～3分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で3.1分となっている。

郵送回収分の速報人口・世帯数集計項目の記入不備についての審査（データ訂正システム審査分）に要した時間は、9市区町の平均で30.6時間となっている。

また、市区町ごとの1世帯当たりの審査に要した時間は1分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で2.3分となっている。

表7-1 調査書類審査に要した時間（速報人口・世帯数集計項目）

所要時間		10時間未満	10時間～ 20時間未満	20時間～ 30時間未満	30時間～ 40時間未満	40時間以上	9市区町 平均
調査員回収分、市区町持 参分及び統計局回送分 （OCR調査票審査分）	市区町数	4	2	1	1	1	22.8時間
	平均審査件数	403件	341件	659件	379件	688件	446件
郵送回収分 （データ訂正システム 審査分）	市区町数	3	2	1	1	2	30.6時間
	平均審査件数	703件	862件	913件	708件	878件	801件

表7-2 1世帯当たりの審査に要した時間（速報人口・世帯数集計項目）

1世帯当たりの 審査時間		1分未満	1分～ 2分未満	2分～ 3分未満	3分～ 4分未満	4分以上	9市区町 平均
調査員回収分、市区町持 参分及び統計局回送分 （OCR調査票審査分）	市区町数	2	1	3	1	2	3.1分
		郵送回収分（データ訂正 システム審査分）	4	2	1	-	2

## (2) 速報人口・世帯数集計以外の項目の審査

速報人口・世帯数集計以外の項目の記入不備についての審査及び世帯照会に要した時間は、9市区町の平均で72.3時間となっている。

また、市区町ごとの1世帯当たりの審査に要した時間は2分未満及び2分～4分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で4.1分となっている。

表7-3 調査書類審査に要した延べ時間（速報人口・世帯数集計以外の項目）

所要時間	10時間～ 20時間未満	20時間～ 40時間未満	40時間～ 60時間未満	60時間～ 100時間未満	100時間以上	9市区町 平均
市区町数	1	3	-	2	3	72.3時間
平均 記入不備件数	2,676件	3,999件	-	4,685件	3,788件	3,933件

表7-4 記入不備のある世帯1世帯当たりの審査に要した時間（速報人口・世帯数集計以外の項目）

1世帯当たりの 審査時間	2分未満	2分～ 4分未満	4分～ 6分未満	6分～ 8分未満	8分以上	9市区町 平均
市区町数	3	3	-	2	1	4.1分

### 【調査書類の審査についての意見・提案】

- ・ 単位区別速報人口・世帯数集計項目の未記入が多く、本調査では対応が困難。
- ・ 記入不備が多く、審査に時間がかかる。  
    〔 調査員回収分は任意封入として、調査員が検査を行えるようにしてほしい。  
    記入不備を住民基本台帳等で確認し訂正できるようにしてほしい。 〕
- ・ 審査は「データ訂正システム」ではなく、紙の調査票で行ったほうがよい。

## 8 データ訂正システムについての意見・提案

- ・ データ訂正画面と調査票イメージ画像を同じ画面で見られるようにしてほしい。
- ・ 一つの世帯から調査票が2枚以上提出され、一方の調査区番号、世帯番号が不読となった場合、当該世帯の調査票が別に整理されてしまう。同一世帯内の調査票データを一緒に確認できないのは不便。
- ・ 読取エラーが多く、訂正に時間を要した。
- ・ 「データ訂正システム」の調査票イメージ画像が不鮮明で、記入内容が判読できなかった。

## 9 単位区別速報人口・世帯数の検査状況

### (1) 単位区別速報人口・世帯数集計の訂正状況

調査票から集計する「単位区別速報人口・世帯数集計結果」と『世帯名簿』から集計する「単位区別調査対象数データ」の単位区別の調査対象数が不一致であった場合の訂正に要した延べ時間は、9市区町の平均で26.5時間となっている。

また、市区町ごとの不一致1件当たりの訂正に要した時間は、5分未満の市区町が最も多く、9市区町の平均で8.2分となっている。

表8-1 単位区別速報人口・世帯数の検査・訂正に要した時間

所要時間	5時間未満	5時間～ 10時間未満	10時間～ 20時間未満	20時間～ 30時間未満	30時間以上	9市区町 平均
市区町数	1	2	3	2	1	26.5時間
平均不一致件数	8件	222件	234件	129件	344件	195件

表8-2 不一致1件当たりの検査・訂正に要した時間

不一致1件当たりの 検査・訂正時間	5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 15分未満	15分～ 20分未満	20分以上	9市区町 平均
市区町数	5	2	1	-	1	8.2分

### (2) 単位区別速報人口・世帯数集計結果の不一致の原因

「単位区別速報人口・世帯数集計結果」と「単位区別調査対象数データ」の不一致の原因としては、次のような事例が報告されている。

#### (単位区別速報人口・世帯数集計結果の誤り)

- ・ 数字の記入が不明瞭だったことによる調査区番号の読取エラー
- ・ 調査員による調査区番号の誤記入
- ・ 調査票未提出世帯の聞き取り調査票の作成漏れ
- ・ 調査対象外とした世帯からの調査票の提出（調査対象外の調査票の抜き取り漏れ）
- ・ 聞き取り調査を行った世帯からの調査票の提出（聞き取り調査票の抜き取り漏れ）

( 単位区別調査対象数データの誤り )

- ・ 調査票配布後、空き家と判明した行の除外漏れ
- ・ 世帯に 2 枚目の調査票を配布するために使用した行の除外漏れ
- ・ 単位区別調査対象数リスト作成時の行数の数え誤り

## 10 今回の試験調査における調査方法等についての意見・提案

### (1) 世帯への調査票提出の周知方法について

- ・ 調査員確保の観点、調査員の負担軽減になることや、都市部の場合、周知方法による回収率に大きな差異がないことなどを勘案すると、強調周知型のほうがよい。
- ・ 並列周知型のほうが従来の方法に近いのでよい。
- ・ 並列周知型で行う場合でも、配布の際に提出方法を確認したほうが世帯の反応もよかった。

### (2) 調査員事務（調査員の配置方法を含む）について

- ・ 訪問回数の上限は、妥当とする意見と、設けないほうがよいという意見がある。
- ・ フォローアップ回収事務調査員縮小型は難しい。配布・当初回収担当の調査員からフォローアップ回収担当の調査員への調査状況の引継や情報共有が困難である。
- ・ 『世帯名簿』の調査票 ID に対応した調査票の配り分けについて、まったく理解していない調査員もいたので本調査を考えると難しい。
- ・ 一人が数箇所の調査区を担当することになると、自治会からの推薦が難しくなる。
- ・ 世帯に調査票を 2 枚以上配布する際の事務が煩雑である。
- ・ マンションの管理会社等に調査員業務を委託できるようにしてほしい。

### (3) 指導員事務（市区町事務との役割分担を含む）について

- ・ 調査地域への協力依頼、調査員の指導、フォローアップ対象世帯の指示及び書類・用品の追加交付などは市区町で行った。
- ・ 『指導員事務の手引』のとおり指導員事務をすべてこなせる適任者の確保は極めて困難である。
- ・ 指導員には検査事務を重点的に行えるようにしてほしい。
- ・ 指導員が清書した後に、「受付状況確認リスト」との照合を行ったが、調査票 ID の配布誤りのため、『世帯名簿』を書き直したケースがあったので、『世帯名簿』の清書の前に照合を行ったほうがよい。

(4) 市区町事務について

- ・ 調査書類の提出が3回あり、それぞれの調査書類によってあて先が異なっていて煩雑であった。
- ・ すべての調査員に複雑な事務を理解してもらうことが困難であった。
- ・ 本調査でも、「データ訂正システム」で審査を行うとなると、相当数のパソコンが必要になる。
- ・ パソコン上での審査に慣れていないので審査事務に時間がかかった。  
また、記入不備だけではなく読取エラーの修正も行ったため、事務負担が大きかった。

(5) 調査票回収状況の把握方法（調査票の郵送提出のあて先を含む）について

- ・ 調査票の配布誤りがあった場合や、調査票に氏名が記入されていない場合などは、回収状況の把握に時間がかかった。
- ・ 回収状況を迅速に把握するため、調査票のあて先は市区町のほうがよい。
- ・ 受付状況確認リストについて

表紙には、更新日が記載されていたが、世帯単位では受付日の表示であったため最新の受付世帯が確認しづらかった。  
調査票ごとではなく、調査区ごとや世帯ごとで作成してほしい。  
統計局回送分の回収状況は随時連絡してほしい。

(6) フォローアップ回収の方法について

- ・ 当初回収とフォローアップ回収の期間が空くと、世帯の協力意識が低下するのではないか。
- ・ 当初回収期間中に不在であった世帯に対してフォローアップ回収を行ってもやはり不在で調査票を回収できないのが実状である。
- ・ すでに郵送で提出したという世帯の対処方法を具体的に示してほしい。
- ・ フォローアップ回収事務調査員縮小型では、違う調査員が回収に来るので、世帯は不信感を抱くのではないか。

## 11 調査書類・用品についての意見提案

### 【調査票】

- ・ B4判二つ折りにして6名まで記入できるようにしてほしい。
- ・ 「8教育」欄の「在学中・卒業」欄の記入漏れが多かった。最初に「大学・大学院」や「高校・旧中」などの学校区分を質問し、次に「在学中」、「卒業」の質問をしたほうが記入漏れは少なくなるのではないか。また、「幼稚園～乳児・その他」欄の「未就学」へのマークは不要ではないか。
- ・ 調査票(乙)のほうが見やすくよい。
- ・ マークや矢印の印刷色が薄くて見にくい。

### 【調査票の記入のしかた】

- ・ ページ数が多い。重くて高齢の調査員には持ち歩きが大変である。
- ・ 1枚程度の分量にし、説明を求める世帯には、コールセンターとホームページで対応すればよいのではないか。
- ・ 今回の試験調査の「調査票の記入のしかた」を詳細版と、1枚程度の分量の簡易版の2種類配布してもよいのではないか。

### 【調査書類整理用封筒】

- ・ 他の郵便物と区別がつくように、目立つ色にしてほしい。
- ・ 『調査書類整理用封筒』と『調査票郵送提出用封筒』の二種類は不要。『調査票郵送提出用封筒』に一本化すべき。

### 【調査票郵送提出用封筒】

- ・ 世帯アンケートの「提出用封筒」と似ていて間違えやすいので、色を変えるなど区別しやすいようにしてほしい。

### 【調査についてのお願い】

- ・ 調査員からも効果があると好評だった。
- ・ 内容を簡潔にし、分かりやすくしてほしい。

### 【調査票の提出のお願い(督促状)】

- ・ どの程度効果があったのか疑問。

### 【世帯名簿】

- ・ 一つの単位区内に同じ名字の世帯が数多く居住している場合や、フォローアップ回収時の調査員縮小型での対応を考慮すると、世帯主の姓だけでなく名まで記入したほうがよい。
- ・ カーボン式による複写ではなく、コピー対応でよいのではないか。

### 【その他】

- ・ 『調査書類入れ』(手さげ袋)は縦長のほうがよい。また、肩かけ(ショルダー)なら両手を使えるので作業しやすい。
- ・ 『国勢調査従事者用腕章』は、調査が円滑に進むのであったほうがよい。

## 12 平成22年国勢調査の実施に向けての意見・提案

### 【調査方法】

- ・ 並列周知型のほうがよい

任意封入提出による調査員回収を原則としたほうが調査票の記入精度が上がるのではないかと。全封入方式や郵送提出は開封から審査事務まで市区町村で行わなければならない、事務的にかなり困難である。  
並列周知の場合でも、配布の際、世帯に提出方法を確認したほうがよい。

- ・ 強調周知型のほうがよい。

調査員確保のため、原則郵送提出としたほうがよい。  
郵送提出のあて先は、世帯の提出状況を迅速に把握できるため市区町村のほうがよい。  
場所と要員の問題があるため、国で郵送提出された調査票の管理を一括して行ったほうがよい。

### 【広報・協力依頼】

- ・ マンション等への協力依頼

管理人等に調査を委託できるようにしてほしい。  
各戸の居住状況が分かると、調査員の負担が軽減されるので、管理会社等から情報提供が得られるような環境整備が必要。

- ・ 調査員については、調査を円滑に進めるためにも法人団体等を任命できるような制度改正が望まれる。
- ・ 申告義務や罰則規定なども、積極的に周知するべきである。
- ・ パブリシティを活用した費用のあまりかからない広報の必要がある。

保育・教育、年金問題など国民の身近な諸問題をテーマにして、国勢調査データの重要性と結びつけた各種の企画書を作成し、関係機関に提案する。  
新聞各紙の特集版への掲載  
若者向け音楽番組、深夜ラジオ番組等への情報提供（国勢調査に関連したクイズ問題の提供等）

### 【市町村事務】

- ・ 住民基本台帳等の既存の行政情報の活用について、法的な面を含めて明確にしてほしい。
- ・ 「データ訂正システム」を使った審査は時間がかかるので、郵送提出のあて先が国の場合でも、審査は紙の調査票で行いたい。

## 第4 市区町審査の概要

### 1 記入不備の状況別世帯数及び世帯照会の状況

調査票に記入不備が一つでもある世帯のうち、電話番号の記入があった世帯の割合は84.0%となっている。

記入不備があり、かつ電話番号の記入がある世帯のうち、連絡がとれた世帯の割合は、全体の7.5%で、電話番号の記入がある世帯の11件に1件の割合となっている。

また、連絡がとれた世帯について、記入不備の補筆訂正の状況をみると、記入不備のすべてを補筆訂正できた世帯の割合が52.3%、記入不備の一部を訂正できた世帯の割合が42.2%となっており、連絡がとれた世帯の約95%で何らかの補筆訂正が可能となっている。

そのほか、電話番号の記入がある世帯のうち連絡がとれなかった世帯、電話照会を行っていない世帯及び電話番号の記入がない世帯においても記入不備の訂正は行われており、記入不備がある世帯で、一部の項目、又はすべての項目の補筆訂正が行われた世帯の割合は73.7%となっている。

表1 記入不備及び世帯照会の状況

	構成比1	構成比2	記入不備のある世帯													(再掲) 記入不備のある世帯			
			総数(実数)	総数	電話番号の記入のある世帯									電話番号の記入のない世帯			すべて訂正可	一部訂正可	訂正不可
					電話照会を行った世帯						電話照会を行っていない世帯			総数	うちすべて訂正可	うち一部訂正可			
					連絡がとれた世帯			連絡がとれなかった世帯			総数	うちすべて訂正可	うち一部訂正可						
総数	うちすべて訂正可	うち一部訂正可	総数	うちすべて訂正可	うち一部訂正可	総数	うちすべて訂正可	うち一部訂正可	総数	うちすべて訂正可				うち一部訂正可					
建物属性	総数	7,153	84.0	15.4	7.5	3.9	3.2	7.9	0.1	5.4	68.6	18.2	32.7	16.0	2.7	7.5	24.9	48.8	26.3
	構成比2	-	-	-	100.0	52.3	42.2	100.0	0.9	67.4	100.0	26.5	47.7	100.0	17.1	47.0	-	-	-
	住宅の建て方が「一戸建」の世帯	3,360	87.4	16.3	8.3	4.3	3.6	8.0	0.0	5.6	71.1	17.4	37.6	12.6	2.3	6.5	24.0	53.3	22.6
	構成比2	-	-	-	100.0	51.4	43.5	100.0	0.4	69.9	100.0	24.5	52.9	100.0	18.4	51.8	-	-	-
	建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション(調査区)に居住する世帯	1,316	88.8	14.7	7.5	3.5	3.4	7.1	0.1	4.3	74.2	19.8	35.9	11.2	1.7	5.7	25.1	49.4	25.5
	構成比2	-	-	-	100.0	46.5	45.5	100.0	1.1	60.6	100.0	26.7	48.5	100.0	15.0	51.0	-	-	-
	住宅の建て方が「共同住宅」で上記以外の共同住宅に居住する世帯	1,915	80.2	13.6	5.3	3.0	2.1	8.3	0.2	5.2	66.6	19.1	25.4	19.8	3.9	7.0	26.1	39.8	34.0
構成比2	-	-	-	100.0	55.9	40.2	100.0	1.9	63.3	100.0	28.6	38.2	100.0	19.7	35.5	-	-	-	
上記以外の世帯	173	78.0	19.7	10.4	6.4	2.3	9.2	0.0	5.8	58.4	22.0	23.1	22.0	2.9	9.8	31.2	41.0	27.7	
構成比2	-	-	-	100.0	61.1	22.2	100.0	0.0	62.5	100.0	37.6	39.6	100.0	13.2	44.7	-	-	-	
「住宅の建て方」無記入・不詳	389	60.4	17.7	9.8	5.9	3.9	8.0	0.0	7.2	42.7	13.6	20.1	39.6	4.1	23.4	23.7	54.5	21.9	
構成比2	-	-	-	100.0	60.5	39.5	100.0	0.0	90.3	100.0	31.9	47.0	100.0	10.4	59.1	-	-	-	
世帯属性	総数	7,153	84.0	15.4	7.5	3.9	3.2	7.9	0.1	5.4	68.6	18.2	32.7	16.0	2.7	7.5	24.9	48.8	26.3
	構成比2	-	-	-	100.0	52.3	42.2	100.0	0.9	67.4	100.0	26.5	47.7	100.0	17.1	47.0	-	-	-
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	572	73.6	13.1	7.2	5.2	1.4	5.9	0.2	3.1	60.5	27.6	9.8	26.4	6.1	6.8	39.2	21.2	39.7
	構成比2	-	-	-	100.0	73.2	19.5	100.0	2.9	52.9	100.0	45.7	16.2	100.0	23.2	25.8	-	-	-
	上記以外の単身世帯	1,397	78.5	15.1	6.5	4.0	2.0	8.6	0.1	3.9	63.4	28.4	12.2	21.5	4.2	8.4	36.7	26.5	36.8
	構成比2	-	-	-	100.0	61.5	30.8	100.0	1.7	45.8	100.0	44.8	19.2	100.0	19.3	39.0	-	-	-
	夫婦のみの世帯	1,401	86.2	15.8	7.5	4.4	2.4	8.4	0.1	5.5	70.3	23.5	30.8	13.8	3.1	6.5	31.0	45.3	23.7
構成比2	-	-	-	100.0	58.1	32.4	100.0	1.7	65.8	100.0	33.4	43.9	100.0	22.2	46.9	-	-	-	
上記以外の世帯	3,270	87.0	15.2	7.6	3.6	3.7	7.6	0.0	5.7	71.8	11.1	43.6	13.0	1.6	7.3	16.3	60.3	23.4	
構成比2	-	-	-	100.0	47.6	49.2	100.0	0.0	75.1	100.0	15.5	60.8	100.0	12.0	55.9	-	-	-	
「世帯主との続き柄」無記入・不詳	513	85.8	19.1	9.7	2.9	6.6	9.4	0.0	9.0	66.7	10.5	50.1	14.2	1.8	10.3	15.2	76.0	8.8	
構成比2	-	-	-	100.0	30.0	68.0	100.0	0.0	95.8	100.0	15.8	75.1	100.0	12.3	72.6	-	-	-	
(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	71.4	14.3	42.9	14.3	-	14.3	14.3	71.4	14.3	
構成比2	-	-	-	100.0	-	-	100.0	0.0	100.0	100.0	20.0	60.0	100.0	-	100.0	-	-	-	

## 2 調査票各欄の記入不備及び世帯照会の状況

### (1) 世帯員に関する調査項目

世帯員に関する調査項目について、記入不備と世帯照会の状況を見ると、記入不備の件数に占める補筆訂正できた件数の割合(補筆率)は、「世帯主との続き柄」(85.7%)及び「5年前の住居の所在地」(81.0%)が高くなっている。一方、「勤めか自営かの別」(24.3%)、「国籍」(42.6%)、「利用交通手段」(47.1%)及び「現在の住居における居住期間」(48.0%)が低くなっており半数を下回っている。

また、連絡がとれた件数に占める補筆訂正できた件数の割合(照会回答率)を見ると、ほとんどの調査項目で70%を上回っているが、「勤めか自営かの別」(41.1%)及び「男女の別」(53.6%)で低くなっている。

### (2) 世帯に関する調査項目

世帯に関する調査項目について、記入不備と世帯照会の状況を見ると、補筆率は「住宅の建て方」の「建物全体の階数」(83.8%)及び「住宅のある階数」(75.9%)が高くなっている一方、「住宅の床面積の合計」(40.3%)が最も低くなっている。

また、照会回答率は、すべての項目で60%を上回っている。

表2 調査項目別の記入不備及び世帯照会の状況

	記入不備件数	割合(%)			補筆率	
		うち電話番号の記入がある世帯	うち電話照会できた	照会回答率		
総数	23,753	82.5	13.0	78.4	57.3	
男女の別	315	88.9	10.0	53.6	53.0	
世帯主との続き柄	942	81.1	11.8	94.4	85.7	
出生の年月	元号・西暦	996	79.4	10.6	75.0	64.1
	年	1,397	81.1	10.6	79.2	68.4
	月	1,332	81.4	11.9	72.9	64.0
配偶者の有無	1,836	79.2	16.6	83.0	61.9	
国籍	598	75.1	16.3	82.2	42.6	
現在の住居における居住期間	756	79.0	16.4	72.4	48.0	
5年前の住居の所在地	105	88.6	16.1	100.0	81.0	
在学、卒業等教育の状況	在学か否かの別	4,916	83.2	13.2	79.6	56.6
	学校区分	5,018	85.4	11.3	83.0	53.6
就業状態	2,344	80.9	16.4	81.4	52.4	
従業地又は通学地	2,163	85.0	12.2	72.9	62.1	
利用交通手段	240	90.0	7.4	81.3	47.1	
勤めか自営かの別	795	79.9	15.0	41.1	24.3	
総数	2,590	77.0	14.2	79.9	61.3	
世帯員の数	1,086	81.6	10.5	73.1	72.6	
住居の種類	275	67.6	19.4	77.8	53.1	
住宅の建て方	231	71.4	16.4	92.6	65.8	
建物全体の階数	111	78.4	3.4	66.7	83.8	
住宅のある階数	141	80.9	9.6	100.0	75.9	
住宅の床面積の合計	746	74.5	20.3	81.4	40.3	